

# 江戸の恋

会期 2022年1月5日(水)～1月30日(日)

※作品は記載のあるもの以外太田記念美術館所蔵です。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

絵師名	作品名	年代
1F 鈴木春信+B7:B7:D56	つれびき	明和4年(1767)頃
鈴木春信	浮世(美人)寄花 路考娘	明和5-6年(1768-69)頃
勝川春章	桜下詠歌の図	天明(1781-89)頃
鈴木春信	男女図(桜)	明和5-7年(1768-70)頃
歌川豊国	両国花火之図	文化10-11年(1813-14)頃
歌川国貞(三代豊国)	江戸名所百人美女 新大はし	安政5年(1858)2月
菱川師平	床盃図	元禄(1688-1704)頃
喜多川歌麿	青楼十二時 続 戌ノ刻	寛政6年(1794)頃
鳥居清長	色競艶婦姿	天明(1781-89)初期
溪斎英泉	浮世姿吉原大全 初会の床 仲の町の桜	文政4年(1821)
歌川国貞	吉原時計 丑ノ刻 夜の八つ	文政(1818-30)中期頃
溪斎英泉	浮世姿吉原大全 後朝の別 仲の町へ客を送る寝巻姿	文政4年(1821)
月岡芳年	風俗三十二相 いたさう 寛政年間女郎の風俗	明治21年(1888)3月
歌川豊国	春の吉原	寛政3-5年(1791-93)頃
歌川国貞(三代豊国)	三代目岩井条三郎の揚巻と初代河原崎権十郎の助六	文久2年(1862)2月
歌川国貞(三代豊国)	見立三十六句選 あげまき すけろく	安政3年(1856)11月
歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次之内 吉田之駅 夕霧	嘉永5年(1852)6月
歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次之内 吉田 ふじや伊左エ門	嘉永5年(1852)8月
歌川広重・歌川国貞(三代豊国)	双筆五十三次 日坂 小夜の中山 無間山遠望	安政元年(1854)12月
豊原国周	三十六花艸の内 朝顔 たそがれ 坂東三津五郎	慶応元年(1865)7月
2F 歌川広重	小倉擬百人一首 前大僧正行尊 久我之助	天保14-弘化3年(1843-46)
歌川豊国	やつし吉野川	寛政前期(1789-93)頃
歌川国貞(三代豊国)	今様押絵鏡 杉酒屋娘お三輪	安政6年(1859)4月
歌川広重	小倉擬百人一首 祐子内親王家紀伊 八重垣姫	弘化4-嘉永3年(1847-50)頃
歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次之内 神奈川駅 渡守頓兵衛	嘉永5年(1852)3月
歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次之内 神奈川 おふね	嘉永5年(1852)8月
歌川国貞(三代豊国)	見立三十六句選 八百屋於七	安政3年(1856)11月
歌川国芳	『恋模様振袖妹背(こいもようふりそでめおと)』	嘉永4年(1851)5月
月岡芳年	『松竹梅湯嶋掛額(しょうちくばいゆしまのかけがく)』	明治18年(1885)12月
歌川国貞(三代豊国)	小倉擬百人一首 式子内親王 おそめ 久松	弘化4-嘉永3年(1847-50)頃
歌川国貞(三代豊国) 歌川広重	双筆五十三次 石部 目川の里	安政2年(1855)8月
喜多川歌麿	音曲恋の操 おこま 才三郎	享和元年-2年(1801-2)頃
喜多川歌麿	音曲恋の操 小紫 権八	享和元年-2年(1801-2)頃
喜多川歌麿	風流愛興競 おさん 茂兵衛	寛政後期-享和(1797-1804)頃
歌川国貞(三代豊国)	『明烏雪浦里(あけがらすゆきのうらざと)』	〈個人蔵〉 安政4年(1857)閏5月
歌川国貞(三代豊国)	『明烏夢泡雪(あけがらすゆめのあわゆき)』	安政2年(1855)3月
月岡芳年	和漢百物語 清姫	慶応元年(1865)9月
歌川国貞	東都鬘貝競 清玄 櫻姫 二 小団次 菊五郎	安政5年(1858)4月
豊原国周	『魁花岩尾伊達染(さきがけていわおのだてぞめ)』	慶応2年(1866)4月
月岡芳年	新撰東錦絵 佐野次朗左衛門の話	明治19年(1886)
歌川豊国	『五大力恋緘(ごだいきこいのふうじめ)』	絹本着色1幅 享和3年(1803)頃
歌川広重	小倉擬百人一首 左京太夫道雅 小まん	天保14-弘化3年(1843-46)
月岡芳年	英名二十八衆句 勝間源吾兵衛	慶応2年(1866)12月
豊原国周	異種薔薇犯妻会 原田お絹 高助	明治12年(1879)7月
水野年方	雪月花之内 鳥羽法皇 白河ノ御遊 二玉藻前ヲ召ノ図	〈個人蔵〉 明治18年(1885)1月
豊原国周	三十六花艸の内 杜若 時鳥 市村羽左エ門	慶応元年(1865)7月
歌川国貞(三代豊国)	柳街梨園全盛花一對 中むら福助 久喜楼粧ひ	慶応2年(1866)3月
歌川国貞(三代豊国) 二代歌川国久	柳街梨園全盛花一對 市川米升 稲本楼小いな	元治元年(1864)4月
月岡芳年	つき百姿 垣間見の月 かほよ	明治19年(1886)9月
葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 初段	文化3年(1806)4月
豊原国周	み立いろはあわせ 六番組 勘平	慶応2年(1866)7月
豊原国周	み立いろはあわせ 五番組 こし元おかる	慶応2年(1866)7月
豊原国周	『花街燕比貌稲妻(さとつばめすがたのいなづま)』	元治元年(1864)4月
歌川豊国	『双蝶々曲輪日記(ふたつちようちようくるわにつき)』	絹本着色1幅 文化13年(1816)頃
歌川豊春	松風村雨	絹本着色1幅 天明(1781-89)前期頃
楊洲周延	東絵昼夜競 大磯の虎	明治19年(1886)1月
歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次 宮の駅 反魂塚	天保14-弘化3年(1843-46)
月岡芳年	月百姿 月のものくるひ 文ひろけ	明治22年(1889)
月岡芳年	つき百姿 やすらはで寝なましものを小夜ふけて かたぶく迄の月を見しかな	明治18-25年(1885-92)頃
月岡芳年	月百姿 はかなしや波の下にも入ぬべしつきの都の人や見るとて 有子	明治19年(1886)9月

